



市長 からの 手紙

85 白河市の桜、棚倉町の桜

昨年、白河市と棚倉町から桜をいただきました。

白河市は、川越藩火縄銃鉄砲隊保存会代表・寺田勝廣さん(小江戸川越観光親善大使)が、毎年同市の桜まつりで鉄砲隊の演武を披露している関係で川越とつながりがあり、最近桜まつりに私も毎年招待されています。他の公務と重なってしまうことが多く、行く機会がなかったのですが、3年ほど前に初めて同市の桜まつりにお邪魔しました。

桜まつりの会場となる白河小峰城は、東日本大震災で石垣が大きく崩れ、平成24年春に家内とお城に行ったときは崩れた石垣がそのままの状態の本丸に上る道も通行止めとなっていました。桜まつりに行ったときには、石垣もかなり修復が進んでいました。かみしもをつけ、本丸の櫓を見上げる広場の来賓席で床几に座って見た川越藩火縄銃鉄砲隊保存会の演武は、素晴らしい光景で忘れられません。同市からの桜は、お城に由来するというので、川越城の城

郭の中である初雁公園の一角に植えました。

棚倉町からは、昨年11月に、日本三大桜に数えられる三春滝桜の子孫木など40本の桜の苗木をいただきました。同町は、言うまでもなく川越市にとって最初の姉妹友好都市で、47年以上にわたって交流のある町です。私も既に何度もお邪魔していますが、他の公務が重なって春祭り(十万石棚倉城まつり)には行ったことがありませんでした。

昨春は、十万石棚倉城まつりに毎年参加している川越藩行列保存会会長の金子正之さん(小江戸川越観光親善大使)のお誘いもあり、初めて十万石棚倉城まつりにお邪魔しました。その際、同町の鈴木敏光副町長から「自宅の枝垂れ桜が満開で見頃だから」と誘われ、素晴らしい枝垂れ桜を見せていただきました。川越市にも、この素晴らしい枝垂れ桜を植えたいと思いを伝えたところ、同じ種類の苗木を川越市に下さるとい話がまとまったものです。同町にある東北地方で最高位の格式を持つ陸奥一宮馬場都々古別神社の枝垂れ桜の種子から育てた苗木だそうです。同町からの桜は、寿町学校給食センター跡地にこの春開設した川越市児童発達支援センターと、霞ヶ関西公民館、資源化センター、なぐわし公園などに植えてあります。

いずれの桜も大きく育ち、たくさんの花をつけて市民の皆様を喜ばせてくれるのが楽しみです。

川越市長 川合喜明

食品ロスを

減らしましょう!

資源循環推進課

Tel 239-6267

Fax 239-5054

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」の削減は、世界的な課題として注目されています。

日本では、平成27年度の推計値で年間約646万tもの食品ロスが発生しています。これは、世界全体の食糧援助量約320万tのおよそ2倍に相当します。

国内で発生した646万tのうち、一般家庭から発生する食品ロスの量は、約289万tと推計されています。家庭での食品ロス削減への取り組みは、ごみの減量化にもつながります。

一人ひとりが、外食時や弁当などの注文の際に、食べ切れる分だけを注文することや、買い物をするときには、冷蔵庫の中をチェックして必要な物だけを購入するように心がけることで、食品ロスの削減につながります。